

区議会レポート

52号

2018年12月10日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137



葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第四回定例会開会

裏面：かわごえ 一般質問報告

葛飾区議会第四回定例会開会

◆去る11月29日に区議会第四回定例会が開会しました(会期12月17日まで)。今定例会では補正予算6億6930万円が上程され、柴又文化的景観記念切手作成経費や災害対策経費として蓄電池式非常用電源整備、土のうステーション設置経費等、学校給食運営経費として小中学校の給食用食材購入費など

が計上されました。他に、歴史的公文書の管理、相撲部屋への公共用地貸付け(奥戸1丁目)、児童相談所建設候補地(立石2丁目)等の報告もされました。また、後期実施計画(素案)、子ども・若者計画(素案)等が報告され、それぞれパブリックコメントが開始されます。ぜひ、ご意見をお寄せ下さい。

パブリックコメント(区民意見提出) 実施開始の計画等

- ◆葛飾区後期実施計画(素案)
- ◆葛飾区子ども・若者計画(素案)
- ◆葛飾区区民サービス向上改革プログラム(素案)
- ◆葛飾区公共交通網整備方針(素案)
- ◆第二次かつしか健康実現プラン・葛飾区食育推進計画(素案)
- ◆(仮称)葛飾区学校施設長寿化計画(素案)
- ◆(仮称)葛飾区いじめ防止対策推進条例(素案)
- ◆(仮称)かつしか教育情報化推進プラン(素案)

～パブリックコメント実施時期～

- 平成30年12月12日～平成31年1月10日
- 閲覧場所→区ホームページ・区政情報コーナー・区民事務所・図書館・ウイメンズパル・健康プラザ他
- 意見提出方法 区ホームページからの電子申請・郵送・FAX等にて提出。
- ※詳細は区ホームページ及び広報かつしか12月15日号に掲載されますのでご確認ください。

◆◆ 新年企画 ◆◆ かわごえ誠一タウンミーティング・学習会 決定！

テーマ・公文書って何？ ～国民の財産、公文書管理のあり方について (仮題)

講師：三木 由希子 さん(情報公開クリアリングハウス理事長)

と き：平成31年1月31日(木) 19:00～ ところ：かつしかシンフォニーヒルズ別館5階レインボー

※自衛隊日報、森友・加計問題などで注目された公文書問題。国民の財産、公文書についての学習会を開催します。

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住30年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現在所属：議会運営委員会／総務委員会／地域活性化対策特別委員会

かわごえ誠一 第四回定例会 一般質問報告

去る11月29日に開かれた第四回定例会本会議において、かわごえ誠一が一般質問に立ちました。今号では質問項目をご報告します。答弁の概要については次号及びホームページに掲載予定です。

1、水害対策の強化について

- (1) 葛飾区の水害対策の現状について伺う。
- (2) 水害対策を進めるには、ハード面ソフト面ともに区民の理解・協力が不可欠である。今後どのように進めていくのか。

2、子ども・若者計画とヤングケアラーについて

- (1) 課題が広範囲にわたる「子ども・若者支援地域協議会」の実効性のある運営体制と、専門部会の方向性についてうかがうとともに、今後、新しい課題が表面化した場合の計画のあり方について伺う。
- (2) 若者特有の課題について相談窓口が必要であると同時に個々のケースに合わせた対応が必要と考えるがいかがか。
- (3) 家族の介護などをしながら学業や仕事をしているヤングケアラーなどが社会的課題として表面化してきた。区としてヤングケアラー・若者ケアラーについての認識を伺う。
- (4) ヤングケアラー・若者ケアラーについては子育て支援部や福祉部、健康部、教育委員会など関係部署が課題を認識し、理解を深めることが大切であるとともに、区民や支援者への理解啓発を進めるため、学習会などで周知すべきと考えるがいかがか。

3、依存症対策について

- (1) ギャンブル等依存症対策基本法の施行と、WHO国際疾病分類ICD-11へゲーム障害が記載されることについて区の見解を伺う。
- (2) ギャンブル依存症について、精神疾患や自殺対策、健康ホットラインなどを所管する健康部、生活困窮や地域包括などを所管する福祉部、児童虐待や子どもの貧困などを所管する子育て支援部、スクールソーシャルワーカーなどを所管する教育委員会など様々な部署が連携し、各相談窓口で依存症の知識を共有すべきと考えるがいかがか。
- (3) ギャンブル依存症は既存支援団体との連携や、社会的認知を広げるための取り組みを行う必要があるがいかがか。



一般質問に登壇するかわごえ誠一

- (4) ゲーム障害・ネット依存は未然防止が重要であり、乳幼児期からの子育て中の保護者をはじめ、区民への啓発に力を入れるべきだと考えるがいかがか。また、不登校やひきこもりの背景の一部にゲーム障害があるが、相談窓口の周知を進めるとともに、子ども・若者の支援団体などと情報交換をし、連携を進めるべきと考えるがいかがか。

4、男女平等社会に向けての男性への支援について

- (1) 女性の社会参画への支援と同時に男性が家庭や地域社会へ参画していくには支援が必要だと考える。男性支援はライフサイクルを見据え、部署を越えた連続的な支援が必要だと考えるがいかがか。また、後期実施計画にこのような視点を導入すべきと考えるがいかがか。
- (2) 今後、子育て支援拠点施設の拡充などに向けてパパママ学級の拡大などの考えについてうかがうとともに、イクメンブルーなど、子育て中の男性への支援が求められるが、男性保護者への子育て相談などの支援についての考えを伺う。
- (3) 幼稚園・保育園や小・中学校での父親の会・おやじの会などの活動は男性保護者の学校や地域活動への窓口になる。教育委員会として団体同士の情報交換や講座などの支援をすべきと考えるがいかがか。
- (4) 男性介護者の社会的孤立を防止するために、相談窓口の強化やケアラズカフェへの支援などをすべきと考えるがいかがか。また、男性高齢者の社会参加について就業支援や、区内のNPO団体などとの協働など、多方面から取り組むべきと考えるがいかがか。